

日吉台新聞

HIYOSHIDAI

発行

日吉台学区
まちづくり協議会

発行責任者
林 堅太郎

編集責任者
野々口 義信

日吉台学区
個人情報保護方針
取り扱い文書

自治連合会に見解、答申

市民センター問題で、改革委

日吉台学区の「自治連合会のあり方を改革する委員会」(林堅太郎委員長)は、市が今年2月発表した「市民センター機能等のあり方実施案」について「強く、深い懸念を抱く」とする見解をまとめ9月の学区自治連合会定例会で、学区自治連に答申した。この「実施案」の検討作業は、日吉台学区自治連合会から改革委に直接諮問されたテーマではないが、市民センターの問題は、学区自治連合会の改革にも深くかかわりがあり、同委として検討、議論する必要があると判断して、この答申となったもので「今後、自治連合会としてしかるべき対応がとられることを期待する」としている。

短縮。ところが市は、実施案で支所統合を先送り「当面支所を残し、職員を配置する」としたこととは裏腹に支所職員の削減を先行。結果、窓口が混雑する日もあり「支所は残っても…」と実施案についても各学区から不満の声が相次いでいる。自治連改革委の見解で

は、支所統合は、高齢者など社会的弱者への負担が大きくなることを避けられないし、市民センターのコミュニティセンター化は、①行政サービスの削減に留まらず住民との接点が縮小する②窓口業務での行政責任の所在が不透明になる③公共サービスに関わる個人情報などの疑問点がある、と指摘している。

このほか、答申では、コミュニティセンター化による「新たな自治組織となるまちづくり協議会」への指定管理のあり方も問題としている、つまり、

指定管理料が低額すぎることで、市の一括交付金による市の各種地域団体への助成制度が未設計であること、利用団体による公民館利用の料金有料化に多くの懸念があること、防災機能における市職員不在時の防災対策の不備などが指摘されている。さらに現在の自治会組織に代わるこうした新たな自治組織の提案が、これまでの地域自治組織や各種団体との二重組織化を生む懸念、あるいは自治会離れや衰退化を進行させないかといった問題点などを列挙、「今回の大津市の提案がいかにも乱暴で拙速か」と、強く非難している。

この改革委の答申全文は、日吉台学区自治連合会のホームページに掲載されている。

強く、深い懸念いただく

市の市民センター機能あり方検討は、今後現状の市民センターをコミュニティセンターに切り換えていくという提案。当初、この計画は、あり方検討の素案として市民に開示された。当初素案では、市内36ある支所を10支所に統合集約化、日吉台支所は、雄琴、下阪本、唐崎支所とともに拠点となる坂本支所に統合されることになっていた。市の市民センター機能

あり方検討は、支所機能の統合、集約化が大きな焦点。統合集約化される支所を持つ市内の学区が強く反発。市は住民らの強い意見を受け、今年2月、素案を見直し、統合計画を先送りする「市民センター機能等のあり方実施案」を発表していた。

実施案では、2024年度まで「支所機能は残り、職員を配置する」とし、支所統合を先送りし、窓口業務は、住民票の写し、印鑑証明、所得証明の発行業務、保険年金、介護など福祉サービスへの届け、相談は取り扱うが、戸籍謄本、抄本等の各種証明書発行、戸籍、住民基本台帳の届け出、市税に関する届け出、公共料金の取り扱いは廃止とした。また、これら取り扱い窓口時間は、午前9時から午後3時まで。窓口業務が大幅に縮小となるうえ取り扱い時間も

ホームページで見解全文掲載

見守り隊2度目の出動 学区の空き家住宅で



学区内に点在する空き家の小修理を担う「日吉台学区空き家見守り隊」(岸本善春代表)は9月15日、所有者の依頼を受け2丁目の住宅の庭の除草、植木の手入れを行った。見守り隊は、学区内にある空き家所有者の依頼を受け、家屋の小修理や除草など簡易な作業を有料で実施するもので学区空き家対策委員会の対策事業のひとつ。見守り隊は、昨年暮れ発足以来2回目の出動となった。写真。

活動を始めた空き家見守り隊は、空き家の老朽化の進行を止め、近隣景観保全のため、原則空き家所有者の依頼を受け、公的な手続き、特殊な機器、特別な資格等を必要としない修繕・修理を有料で行うもの。作業を担当する見守り隊は、3丁目西在住の岸本さんら計4人で昨年暮れ発足した。申し込み相談は空き家対策委の濱崎博事務局長(0901505315455)まで。

学区内では、マイカーを複数所有する世帯が増加しているが、学区の住宅地では1台しか駐車できない車庫が多い。最近複数のマイカーを所有する住民から学区空き家対策委に学区内で空きガレージを捜してほしいとの声が寄せられている。駐車料金は有料。詳細については、問い合わせや希望者は、学区空き家対策の濱崎博事務局長(0901505315455)まで。

空家対策など日吉台学区が取り組むまちづくりについて、三重県津市の津市自治連合会津市支部(生川介彦会長)視察研修の一行が10月16日、日吉台学区を訪問、視察研修する。一行は、津市自治連合会津支部の会長、役員、同市職員ら24人。日吉台市民センターで、日吉台学区で取り組む空き家対策の事業内容、事業の経緯、苦労話、事業の成果、日吉台学区自治連合会組織の概要などについて研修、まちづくりについて意見交換などを行う。

ガレージ、借入希望者募集

4丁目西の空き家所有者からこのほど、学区空き家対策委員会に対し、

軒先ガレージの貸し出し申し込みがあり、同委が同ガレージの借りたい希望者を募集している。

知事迎え、ようこそ先輩事業

日吉台小コミュニティスクール



日吉台小学校卒業生で滋賀県の三日月大造知事を招いた日吉台小コミュニティスクール事業、「ようこそ先輩」(ようこそ先輩)の先輩実践者、学区まちづくり協議会、日吉台小コミュニティスクール協議会協賛、日吉台小PTA協力)が、10月25日午後1時30分、母校の日吉台小体育館で開かれる。入場無料、一般卒業生を招いた「ようこそ先輩」コンサートを開いており今年が3回目。実行委では一般の学区民の来場を呼びかけている。(写真は三日月大造知事県ホームページから)

三重・津市から視察、研修

空家対策など

健やかに、いつまでも



福祉まつり・敬老のつどいで祝辞を述べる越直美大津市長（右）とあいさつする呉屋之保学区社会福祉協議会長（上）



福祉まつり開催

催し、イベントに楽しんでいこうよ

敬老月間

敬老月間の9月8日、学区社会福祉協議会主催の第15回「福祉まつり〜敬老のつどい〜」が日吉市民センターで開かれた。参加したお年寄りたちは、式典のあと繰り広げられたアトラクションやゲームなどがあるお楽しみ広場、模擬店など行事を満喫、残暑が厳しいなか楽しいひとときを過ごしていた。

長寿を祝う式典「敬老のつどい」には、学区在住の75歳以上の在住者のうち125人が出席。式典で呉屋之保・学区社会福祉協議会会長が「人生100年時代に入っている。日吉台のまちを良くするため活躍して欲しい」とあいさつ、来賓として出席した越直美・大津市長が「みなさんの日ごろの活動が長寿の秘訣。ご長寿をお祝いします」と激励、お祝いの言葉を述べた。このあと今年米寿を迎えた学区24人のうち式典に出席していた8人にお祝いの記念品が贈られた。

子どもたちが料理体験 健康推進協議会が開く

日吉台健康推進連絡協議会（岡崎一郎会長）は8月22日、日吉台市民センター調理室で、「子どもの料理教室」〜夏休みのランチをみんなで作ろう〜を開いた。この子ども教室は、昨年の夏休みの開催に続いて2回目。日吉台児童クラブの子どもたち27人と先生3人が参加した。三角巾にエプロン、マスク姿で参加した子どもたちは、チーズ、カニカ



マ、パプリカ、卵などを使った「カラフルちらし」や「ニンジンケーキ」や「フェー」など料理づくりに挑戦し写真。

健康推進員や付き添いの先生らの指導で予定した料理メニューを悪銭苦闘しながらも作り上げ、楽しくおいしく完食した。

玄関灯・門灯 点灯にご協力ください！

- ・ 帰宅時も明るくて安心
- ・ 泥棒に狙われにくい街づくり



電気代は、LED電球（40W電球相当）の場合1か月60円程度、20W蛍光灯の場合1か月140円程度です。

骨密度測定は足の踵（きびす）に超音波を当てる検査。昨年秋にもこの野菜マルシェ会場で骨密度測定が行われ、女性が優れない人には、主催者側が医療機関で精密検査の受診を勧めた。

マルシェ会場で骨密度測定など しが健康友の会

11月9日

旧滋賀銀行日吉台出張所前で11月9日行われる学区まちづくり協議会の野菜マルシェで、「しが健康友の会」による骨密度測定や血圧測定、健康相談などを行う青空健康チェックが実施される。無料。

困ります！そのオシッコ！！ マナーを守りましょう！



犬のトイレは適切な場所で！
※ 犬の散歩の際は、フン尿の始末ができる用意（ビニール袋、水入りペットボトル）をしましょう。

大津市動物愛護センター